

既刊号の掲載記事一覧

凡例：* は本文の執筆言語が英語であることを、** はドイツ語、*** はフランス語であることをそれぞれ示す。無印は日本語。

創刊号 (1980年10月)	
発刊にあたって	魚住昌良 1
祝辞*	Roger Matthews 2
15世紀における「見ること」の意味について——ファン・アイク兄弟の絵を中心にして——	近藤壽良 3
デュラールとかたち	斉藤栄一 12
キリシタン思想受容の一形態——キリシタン時代と明治維新に於ける——	下沢小百合 21
リュベックにおける宗教改革の社会的背景	棟居洋 32
〈文化〉把握における〈個性性〉の相貌	砂川裕一 42

第2号 (1981年4月)	
芭蕉の「もの」と「見る」——文学のシュンクリシス (比較) について——	石田啓 2
『曾根崎心中——観音廻り』研究	吉岡文夫 12
朝鮮実学派における対外観の転換——北学派を中心として——	李省展 23
アメリカ留学時代の容閑——S.W. ウィリアムズあて書簡を手掛かりとして——	藤本昌子 33
福沢諭吉と朝鮮——その“文明論”的アプローチ——玄洋社的アプローチとの対比において——	佐藤豊 44

第3号 (1981年10月)	
「おぼろなる型から真実へ」——ダンテ・ミルトン・アメリカ清教徒文学における予表論的想像力——*	大西直樹 3
悲劇『オイディプス王』に秘められた謎	吉岡文夫 15
柳宗悦にとって工藝が意味するもの	永田寿美子 26

美の超越と人間存在——カントの美的判断を手掛りにして——	田中敦 37
------------------------------	--------

第4号 (1982年5月)	
役柄存在の未定的・既定の層在——文化主体の構造措定のために——	砂川裕一 4
クライストにおける経験の信頼性とは**	古沢ゆう子 15
バーガーの「相対化を行なうものの相対化」について	佐藤真 25
ケルン都市共同体の形成	奥田典子 35
作文方法と堀辰男	松田嘉子 46

第5号 (1982年11月)	
地獄の天蓋の下で——『失樂園』における喜劇的要素——	下館和己 3
大村純忠夫人について——最初のキリシタン大名の正室・側室と純忠の信仰——	下沢早百合 16
《文献紹介》	
シャトランの『年代記』	近藤壽良 47

第6号 (1983年6月)	
A Dramatic Overture: A Study of <i>Hamlet</i> with Special Reference to the Opening Scene*	吉岡文夫 3
シャトランの「年代記」9章 (未刊) のテキスト***	(近藤壽良 校訂) 24
15世紀の年代記——特にシャトランを中心にして——	近藤壽良 32
「ケクス・アルキュオネ物語」(オウィディウス『変身譚』XI 410-748) における自然、神々、人間——エクスラシスの技法をめぐって——	水島陽子 44

- 最晩年のリルケ——ドイツ語とフランス語の詩人として——
 ……………池田 裕 56
- アメリカの伝統における「公共の神学」とラインホルド・ニーバーの社会=政治思想
 ……………高力 弘一郎 69

第7号 (1983年12月)

- ブルドンあるいは内在論的社会認識の起源
 ……………原 千砂子 3
- 初期アメリカ文学における予型論の役割*
 ……………大西直樹 17
- ボードレールの美術批評における「翻訳」の概念をめぐる***
 ……………山本昭彦 26
- クライストの「ホンブルグ公子」と秋元松代の「常陸坊海尊」における罪の問題**
 ……………白鳥 由紀子 45
- 19世紀の小説におけるプロテウスの語り手の出現と全知の語り手の排斥*
 ……………篠原りさ 57
- 《研究ノート》
 「文化比較の基礎づけ」という課題について覚え書——当面する論件の背景と議論の視角——
 ……………砂川 裕一 72

第8号 (1984年7月)

- 大槻鉄男の詩——その創作過程を辿って——
 ……………田中真理 3
- ミルトンのソネット第19番——教育の一過程として——*
 ……………小野功生 23
- 伝統と現代
 ……………津守光太 29
- 「心中天の網島」における水と結びのイメージアリー (1) ——小春の愛と苦悩——*
 ……………下館和己 53
- 《研究ノート》
 大江卓の干崖独立「支援」(1907-09) ——その経緯と対戦中の扱われ方——
 ……………根本 敬 65

第9号 (1984年12月)

- 比較文化についての一考察*
 ……………結城敏也 3
- 言語の喚起力と意味論
 ……………武田 徹 17

- キャリア・ミーバーの悲劇
 ……………小檜山 ルイ 33
- ヨブ記と古代オリエントの知恵文学
 ……………永野茂洋 49
- 「心中天の網島」における水と結びのイメージアリー (2) ——女の哀しみ——*
 ……………下館和己 65

《研究ノート》

- ヘーゲル『法哲学』における所有の問題——所有・譲渡・契約——
 ……………平山茂樹 79

《文献紹介》

- 「伝統」の視点と核軍縮への問題意識
 A. K. Saran, "A Prolegomenon to Nuclear Disarmament and World Peace," *Gandhi Marg*, vol.1, no.38 + 39, Gandhi peace Foundation, Delhi, May and June, 1982.
 ……………津守光太 89

第10号 (1985年11月)

- 土着的リバータリアンの一形態——石川三四郎における主体と社会——
 ……………稲田敦子 3
- 叙事詩における反英雄——セイトンと清盛——
 ……………小野功生 19
- ヒンドゥー思想における王権と社会秩序——法典と実利論——*
 ……………伊藤高章 33
- 『ポール・ロワイヤル文法』は「一般的」「理性的」か?
 ……………武田 徹 45
- 《研究ノート》
 廣松渉『物象化論の構図』摘録——「文化比較の基礎づけ」という課題についての覚え書・2——(1)
 ……………砂川 裕一 55
- 《論評》
 歪められたビルマ像 ——映画『ビルマの竖琴』の問題性——
 ……………根本 敬 71

第11号 (1986年3月)

- トクヴィルとアメリカの懲治監獄制度
 ……………原 千砂子 3
- 『ブライズデイル・ロマンス』に於ける「孤独な人格」のテーマ——語手カバデイルの笑いの考察を通じて——
 ……………小檜山 ルイ 15

話と叙述における主体性——一人称叙述の2つに作品を通して——*	榎 敬 子 29
『荒地』1922年——T.S.エリオット——(1)*	齋 藤 真知子 53
《研究ノート》	
廣松渉『物象化論の構図』摘録——「文化比較の基礎づけ」という課題についての覚え書・2——(2)	砂 川 裕 一 69

第12号(1986年7月)

人格の尊重——J. ロールズのカント主義とそれに対する人間主義的批判——*	下 川 潔 3
ボードレールと永井荷風	山 本 昭 彦 19
初期ニーチェの歴史構想(前半)	野 田 尚 文 33
エウリピデス『エレクトラ』におけるオレステス像	平 田 松 吾 49
レビビと研究への視角	山 森 み か 61
『荒地』1922年——T.S.エリオット——(2)*	齋 藤 真知子 75
《研究ノート》	
用能的亜世界の行為拘束的特質について——「文化比較の基礎づけ」という課題についての覚え書・3——	砂 川 裕 一 95

第13号(1987年1月)

ヘラクレイトスのロゴスについて	松 林 直 3
貴種の流離——『平家物語』と『失楽園』——	小 野 功 生 17
実存の場としての「世界」——比較文化についての一考察II——*	結 城 敏 也 29
アジアにおける教会一致運動の類型——中国とインドの事例——	伊 藤 高 章 43
初期ニーチェの歴史構想(後半)	野 田 尚 文 57
《研究ノート》	
バルトの写真論と喚起力の意味論——歴史的事実へのアクセスに関して写真記号と言語記号の隔たりを考える——	武 田 徹 73

第14号(1987年9月)

アポロン・ディオスクロイ・人間——エウリピデス『エレクトラ』の終結——	平 田 松 吾 1
ジョージ・ハーバートの信仰と詩*	齋 藤 真知子 17
1970年代のサガ研究——構造分析を中心に——	古 川 まゆみ 45
プロテスタント宣教師W. A. P. Martinにおける伝統的中国思想の考察*	朱 琳 琳 61
《研究ノート》	
永祿五年秋 府内のキリシタン楽	上 尾 信 也 77

第15号(1988年6月)

P. ティリッヒの神論	安 東 邦 浩 3
遊戯の光学(I)——1880年代前半に於けるニーチェの思索を中心として——	五 郎 丸 仁 美 21
「楽園喪失」における善悪*	齋 藤 真知子 37
《文献紹介》	
ハンブルグの楽師組合規約(1691年2月18日付)	上 尾 信 也 65
《特別論稿》	
長(武田)清子教授の特別論考に関して	金 澤 正 剛 83
ICU 比較文化研究科の“学術博士”——そのヴィジョンと構想——	武 田 清 子 84

第16号(1988年12月)

改革の時代——トランセンデンタリズムの社会思想——*	原 千 砂 子 3
ヘルメネグルドの反乱に見る6世紀後期西ゴート王国の状況	安 達 かおり 17
遊戯の光学(II)——1880年代前半に於けるニーチェの思索を中心として——	五 郎 丸 仁 美 29
「ロミオとジュリエット」——心中への恋——	下 館 和 己 47

ヘーゲルの道徳的行為論
 ……………平山茂樹 67

第17号 (1989年12月)

隠れ宗の伝統と継承——五島列島前島の事例報告——
 ……………高崎恵 3
 『悲劇の誕生』におけるニーチェの歴史的思考と時代の歴史学への批判(前半)
 ……………野田尚文 19
 太郎冠者とは何者か (I) ——狂言の成立とその社会的基盤——
 ……………松林直 43

《読書ノート》

廣松「表情論」の視角——廣松渉『表情』摘録(1)——
 ……………砂川裕一 57

第18号 (1990年3月)

ガンディーとキラーフアット運動
 ……………徳田彩子 3
 『悲劇の誕生』におけるニーチェの歴史的思考と時代の歴史学への批判(後半)
 ……………野田尚文 17
 太郎冠者とは何者か (II) ——狂言の成立とその芸芸的背景——
 ……………松林直 37

《読書ノート》

表情感得と役割期待の察知——廣松渉『表情』摘録(2)——
 ……………砂川裕一 49

第19号 (1990年6月)

鳥山石燕「百鬼夜行」考
 ……………横山泰子 3
 「喜びの訪れ」における信仰と喜び*
 ……………斎藤真知 17
 太郎冠者とは何者か (III) ——劇形成の流儀と可能的作者像——
 ……………松林直 37
 《研究ノート》
 ザドゥルガ——バルカンにおける1つの神話——**
 ……………古川まゆみ 53

第20号 (1990年12月)

ウィトゲンシュタインの『哲学的探究』の規則論における「複数性」要求の諸相——経時的なるものとしてのマッギンの複数適用テーゼと瞬時的なるものとしてのク

リプキの共同体説との関係をもぐって——

……………征矢直樹 3
 C. S. ルイスとスペンサーの Images of Life*
 ……………斎藤真知子 32
 幻想と『憑かれた女』***
 ……………山崎朱美子 45
 《読書ノート》
 他者理解の原基構造と表情感得——廣松渉『表情』摘録(3)——
 ……………砂川裕一 47

第21号 (1991年6月)

シュヴァーベンの聖書主義——J. A. Bengelの「イエス・キリストの血」論を巡って——
 ……………久保田浩 3
 出版人としての梁啓超(1)——前半生の思想的営為を跡付ける一試案——
 ……………松江万里子 25
 1396年ケルンの手工業者闘争について
 ……………張冠増 39

《研究ノート》

2人のJacomiか1人のJacobか——音楽資料と歴史資料の接点、14世紀後半の音楽家? ジャコブ・ド・サンレーシュをめぐる——
 ……………上尾信也 51

第22号 (1992年3月)

法隆寺夢殿本尊救世観音像光背裝飾文様についての考察——宝塔形建築物の彫出について——
 ……………八波浩一 3
 シェイクスピア劇における悪と坪内逍遙I——『マクベス』解釈を中心に——
 ……………横山泰子 21
 能とベケット——『ゴドーを待ちながら』をめぐる——***
 ……………新倉さがみ 35
 “The Idiot Boy”におけるワーズワースの文化批判*
 ……………田久保浩 43

第23号 (1992年9月)

言語に於ける有契性についての一考察——言語学的範疇化と人間の比喩的思考に関して Part 1——*
 ……………高橋光子 3
 シェイクスピア劇における悪と坪内逍

- 遥Ⅱ——『タイタス・アンドロ
ニカス』解釈を中心に——
……………横山 泰子 17
- カント美学における「構想力と悟性の
戯れ」(前半)
……………五郎丸 仁美 29
- 西田幾多郎における歴史哲学の性格について
……………野田 尚文 45
- 第24号 (1993年3月)
- 言語に於ける有契性についての一考察
——言語学的範疇化と人間の比
喩的思考に関して Part 2 ——*
……………高橋 光子 3
- 『西鶴諸国ばなし』に描かれた人間像
……………矢野 百合子 27
- カント美学における「構想力と悟性の
戯れ」(後半)
……………五郎丸 仁美 43
- 批評家にとって「見る」ということ
——ラフキン、アーノルド、ペ
イターについて——
……………田久保 浩 59
- 《研究ノート》
ICUで語られた民話——1991年(I) ——*
……………(編)守屋 靖代 75
- 第25号 (1993年9月)
- ギリシア悲劇における女性の走り(I)
……………平田 松吾 3
- ドン・キショティスムとボヴァリスム***
……………山崎 朱美子 17
- 《研究ノート》
ICUで語られた民話——1991年(II) ——*
……………(編)守屋 靖代 29
- 第26号 (1994年8月)
- バルザックの四つの小説の二項対立構
成(前半)
……………山崎 朱美子 3
- 茶の湯における象徴創造のプロセス
……………谷村 玲子 19
- モルモン教と暴力——アメリカ西部開
拓時代におけるマカベア型宗教
の形成——
……………高橋 弘 31
- ギリシア悲劇における女性の走り(II)
……………平田 松吾 53
- 第27号 (1995年3月)
- 人種主義の思想と論理——Elijah Abel
一族をめぐる黒人観の比較研究——
……………高橋 弘 3
- 「百人一首」翻訳と注釈***
……………新倉 さがみ 25
- オノト・ワタンナという日本篤——世
紀転換期アメリカにおける女性
とジャポニスム——*
……………前田 眞理子 43
- 草創期札幌農学校における英語・英文
学教育——一期生内田静の新資
料を手がかりにして——
……………松沢 真子 71
- バルザックの四つの小説の二項対立構
成(後半)
……………山崎 朱美子 95
- 第28号 (1995年11月)
- 中国系アメリカ人における自我探求*
……………曾 纓 3
- 交わりと疎外——『インドへの道』と
『ビルマの日々』におけるE・M・
フォースターとジョージ・オー
ウェルの比較研究(前半) ——*
……………高島 美穂 21
- ICUで語られた民話——1992年——*
……………(編)守屋 靖代 45
- 「『東方見聞録』の奇談」***
……………山崎 朱美子 75
- 第29号 (1996年12月)
- 親鸞による「はからい／義」対「自然」
の語用例について
……………高木 久夫 3
- エミリー・ディキンソンにおける自然
と信仰——ディキンソンの
“Nature Poems”とエドワード・
ヒッチコックのReligious Lectures
との関連性について——*
……………黒崎 紫乃 17
- コットン・ネロA. x. 写本の四篇の頭
韻詩韻律について*
……………守屋 靖代 39
- 交わりと疎外——『インドへの道』と
『ビルマの日々』におけるE・M・
フォースターとジョージ・オー
ウェルの比較研究(後半) ——*
……………高島 美穂 65
- 外交の“部外者”として——1920年
以前のアメリカ合衆国における
女性外交評論家の歩み——
……………前田 眞理子 87

第30号(1997年12月)

- 『葉隠』における「奉公」と「学問」の相互関係について
……………鈴木孝子 3
- 公爵ヴィンチェンツォ・ゴンザーガ1世時代(1587年~1612年)のマントヴァ宮廷音楽の社会状況について
……………丹羽誠志郎 21
- ボヌフォワによるマラルメ
……………武田恵理子 33
- 『マクベス』上演再考——1606年と1976年の舞台から——*
……………本山哲人 51
- 反抗と中庸——『1984年』と『反抗的人間』におけるジョージ・オーウェルとアルベル・カミュの比較研究(前半)——*
……………高島美穂 69
- 《研究時評》
PMLA フォーラム:「文化研究と文学」——PMLA vol.112(1997): pp.257-286——
……………田久保浩 83

第31号(1998年12月)

- 自由意志と決定論——シェリーにおける啓蒙思想——
……………田久保浩 3
- 16世紀パルマでの貨幣事情ならびに宮廷での給料支払について
……………丹羽誠志郎 19
- ラインホルド・ニーバーのデモクラシーをめぐる理解——制度かエートスカ——
……………植木 献 35
- 反抗と中庸——『1984年』と『反抗的人間』におけるジョージ・オーウェルとアルベル・カミュの比較研究(後半)——*
……………高島美穂 57
- 《研究ノート》
マックス・ヴェーバーのゼクテ——概念規定に基づく再解釈——
……………霜鳥 文美恵 77

第32号(2000年3月)

- アーサー・ウェイリーの翻訳——浮舟巻における実践と理論——
……………畑中千晶 3
- 英国における日本語教育*
……………小森由里 19

- 意味現象の捉え方——先行研究の紹介と整理——
……………松中完二 47
- 《研究時評》
MLA 専門職雇用問題委員会最終報告書をめぐって——PMLA, vol.113(Oct. 1998): 1154-1187; vol.114(Mar. 1999): 229-238.——
……………田久保浩 75

第33号(2001年3月)

- 英国神秘劇の受容——15世紀の教会と民衆の視点から——*
……………本山哲人 1
- パルマ宮廷楽団がどのようにジャン・ダラスを獲得したか——イタリア宮廷によるフランドル人音楽家スカウト——*
……………丹羽誠志郎 25
- 虚構と生成変化——ドゥルーズと文学に関する諸問題——***
……………助川晃自 45
- 構造主義言語学における意味研究の黎明
……………松中完二 65

第34号(2002年3月)

- 比較文化研究会主催講演会「近代小説の成立と虚構」(講演:奥泉光司会:並木浩一)
…………… 1
- 血から<知>へ——ルネ・ジラルドと非暴力の問題——
……………松谷邦英 27
- ディスクールの内部と外部——バンヴェニスト、自己指向性と転換の問題——***
……………助川晃自 55
- 日本語教育における親族語彙——初級日本語教科書の分析——
……………小森由里 73
- 肉食という「近代」への道——明治期における肉食論と大正期における食肉供給体制——*
……………真嶋 亜有 95
- 認知言語学における意味研究の黎明
……………松中完二 123

第35号(2003年3月)

- 恩寵の外の意志——ルターと後期スコラ神学——
……………河窪陽子 1

「反宗教運動」の遺産——岩倉政治の 場合——	森 葉 月 33
オズワルド・クロルと精錬者エリヤ	村 瀬 天出夫 65
STS リンク論の提唱	萩 原 優 騎 101
《研究ノート》	
英和辞書の意味記述と訳語の隙間 —— good の訳例に見る意味認識 と訳語生成の創造的側面について——	松 中 完 二 127
《講演要旨》	
戦争とジャーナリズム	武 田 徹 147
《共通主題発表要旨》	
「啓示と理性：近現代におけるその再 考」——まえおき：共通主題に ついて——	高 木 久 夫 159
レオ・シュトラウスのマイモニデス回帰	高 木 久 夫 161
アイロニーとユーモア——ラインホル ト・ニーバーにおける自由——	植 木 献 167
カントの宗教論——理性信仰と啓示信 仰、あるいは理性と事実の問題——	河 窪 陽 子 174
第 36 号 (2004 年 3 月)	
ホップズ、ロック、ヒュームにおける 正義論の認識論的基礎*	矢 嶋 直 規 1
他者はどのように現れるのか	萩 原 優 騎 33
「蛮人」の声——J. M. Coetzee <i>Foe</i> に おける「欠如」——*	小 泉 有 加 63
ル・クレジオの旅行小説における矛盾***	松 井 裕 史 103
《講演要旨》	
妖怪と比較文化研究——轆轤首を中心に——	横 山 泰 子 121
第 37 号 (2005 年 3 月)	
トランスネットワークキングの構想 ——ヴァルター・ベンヤミンの 再帰的歴史哲学——	萩 原 優 騎 1
日本語のウナギ文の翻訳——中国語話 者と英語話者の場合——	三 角 友 子 33

台湾における「郷土言語」教育とその 問題——「國民中小学校九年一 貫課程」(2001)を中心に——	谷 口 龍 子 65
日本語における主要部 ν の可視形態素 としての分析*	木 村 直 樹 87
お茶と Henry James の場面法 (Scenic Method) *	戦 海 燕 119
ドイツ近代と官僚制——ウェーバー兄 弟とカフカ——	朝 倉 哉 帆 153
戦後における被差別部落女性と日本国 憲法草案*	森 田 みゆき 189
《研究ノート》	
「植民」・「植民地」の誕生とその意味 変容について	川 副 悠 史 231

第 38 号 (2006 年 3 月)

安全な生活環境の実現に向けての学際 的地域研究——吾妻川流域にお けるハッゲダム開発問題を事例 として——	萩 原 優 騎 1
女性作家による「ロビンソン物語」 ——ミュリエル・スパークとジェ イン・ガーダムの作品を中心に——*	小 泉 有 加 31
建築における「日本的なもの」と「新興写真」	岸 佑 61
《研究ノート》	
日本の社会・文化における印象管理 ——日本、米国、ドイツの面接 マニュアル——	リチャード・E・ゴッツ 89

第 39 号 (2007 年 3 月)

ICU 比較文化研究会 30 周年記念講演 会「比較文化の歩んだ 30 年と将来」	並 木 浩 一 1
トランスネットワークキングの構想 (2) ——ヴァルター・ベンヤミンの 言語哲学と法哲学を中心として——	萩 原 優 騎 25
人称詞の定着過程に関する一考察 ——親族の事例より——	小 森 由 里 53
紅楼夢におけるお茶の場面*	戦 海 燕 83

アイヌ民族の“展示”——20世紀初
期における博覧会と日本の植民
地イメージの構築——*
……………森 田 みゆき 119

《研究ノート》

ウィトゲンシュタインと音楽——その
哲学の文化的背景に関する試論——
……………中 村 光 一 151

第40号 (2008年3月)

古層と根源
……………萩 原 優 騎 1

現代医療における倫理の在り方につい
て——道徳的支えとしての病院
倫理委員会——
……………山 邊 昭 則 31

歴史の裂け目としての都市表象
——『ラ・ジュテ』と『ミュリエル』
の作品分析を通して——
……………東 志 保 65

20世紀前半イギリス小説および短編
小説におけるお茶の場面
……………戦 海 燕 93

第41号 (2009年3月)

科学・技術の時代におけるアメリカの理想像
……………青 砥 吉 隆 1

伝統産業としての岩島麻——日本にお
ける再帰的近代化の一事例——
……………萩 原 優 騎 47

インベトゥス理論における投射体の直
線的軌道
……………美 添 真 樹 75

西洋における道化の系譜
……………志 村 岳 彦 119

ストア・ポイキレの4絵画——前5世
紀アテナイ大絵画における戦争
と神話——
……………山 口 京一郎 149

カリバン、カリブ海、カンニバル
——エメ・セゼールによるシェ
イクスピア『テンペスト』の文
学カンニバリズム——**
……………松 井 裕 史 183

ノスタルジーが引き起こす不気味な感覚*
……………サマンサ・ランダオ 211

「廣島」と「ヒロシマ」の間——平和
記念公園の史的 연구——
……………岸 佑 243

第42号 (2010年3月)

“Manifest Destiny”の20世紀的展開
——スプートニク危機とアポロ
計画——
……………青 砥 吉 隆 1

「並列・添加」を表す接続詞のジャン
ル別分析——雑誌を題材として——
……タッサワン・チョンペンスクラート 37

近代日本における、ある異邦人の宿命
——ヨネ・ノグチの再評価に向
けて——
……………星 野 文 子 77

「流砂」から「絶対的真実」へ——ハ
ロルド・ペンターの戯曲に於ける
「現実」と記憶の見方の変遷——*
……………吉 岡 史 朗 123

第43号 (2011年3月)

疲弊した地域社会の再生に向けて
——八ッ場ダム問題の現状と課題——
……………萩 原 優 騎 1

うどんの経済学——香川県における
フードツーリズム——*
……………テニール・ジョーンズ 29

宇宙時代の英雄像——1960年代アメ
リカのエートスと未来——
……………青 砥 吉 隆 73

クリス・マルケルの都市イメージにお
ける「屑拾い」について***
……………東 志 保 117

不気味な家庭、邪悪な家——ゴシック
小説における家の表象——*
……………サマンサ・ランダオ 163

パトリック・シャモワゾ『老人奴隷
と犬』における奴隷逃亡再考***
……………松 井 裕 史 213

第44号 (2012年3月)

『竹取物語』の虚構性
……………齊 藤 み か 1

平良修牧師の神学と人生——米国統治
下に於ける沖縄キリスト者の応
答 (1945-72年) ——*
……………宮 城 幹 夫 31

『存在と時間』における存在の問いと単独化
……………磯 田 雄 輝 83

第45号 (2013年3月)

心のふるさと——日本近代における故
郷観の起源史——*
……………リンジー・モリソン 1

- 生理のクローゼット——日本とコロ
 ビアの女性用衛生用品の広告に
 おける月経の表象分析——*
 ……フリアナ・プリティカ・アルサテ 29
- 《研究ノート》
 カトウルス 64 番における cupido と
 その関連語について
 ……山口 京一郎 61

- 《書評》
 星野文子著『ヨネ・ノグチ——夢を追
 いかけた国際詩人——』（彩流社、2012）
 ……大野 ロベルト 71
- 大門正克編『新生活運動と日本の戦後
 ——敗戦から 1970 年代——』（日
 本経済評論社、2012）
 ……土屋 宗一 77

第 46 号（2014 年 3 月）

- 事物・眠り・言葉——ジュール・シュ
 ベルヴィエルの夢の領域——
 ……佐藤 園子 1
- 地を割るポセイドン——『エイコネス』
 II.14, 16, 17 ——
 ……山口 京一郎 23
- 信念とヴィジョンの証——ケネディ大
 統領による二つの「月」演説の
 分析——
 ……青砥 吉隆 47
- カール・バルトの『ローマ書』におけ
 る「神認識」——第一版と第二
 版の比較研究——
 ……木村 里奈 65
- パウロ・ティリッヒの神学とロロ・メ
 イの実存的心理療法
 ……若山 和樹 91
- 『御製歌「よもの海」をめぐる考察
 ……本間 光徳 129
- 《翻訳》
 闇の詩人——梶井基次郎：「蒼穹」「笈
 の話」「桜の樹の下には」「闇の
 絵巻」英訳・解題——*
 ……リンジー・モリソン 185

第 47 号（2015 年 3 月）

- 詩人ヨネ・ノグチを輩出したジレット・
 バージェスと *The Lark* の試み*
 ……星野 文子 1
- 実践的文化適合——マテオ・リッチの
 中国語文献に関する考察 ——*
 ……パウラ・エスゲラ 29
- 《研究ノート》
 “Notes on Religious Subjects by K.

- Uchida” 1879 の翻刻
 ……宮田 和子 63

《翻訳》

- 神の力の有効性と直接的な神認識
 ——カール・バルト『ローマ書
 講解』第一版（1919 年）第一章
 邦訳・解題——
 ……木村 里奈 127

第 48 号（2016 年 1 月）

- 新井奥遠の神学思想における「霊的」
 概念——鈴木大拙の「靈性」と
 の対比——
 ……那須 理香 1

《研究ノート》

- ローマ期の観光案内人とプルタルコス
 「ピュティアの神託について」前
 半における案内人（ペリエーゲー
 テース）の役割
 ……山口 京一郎 43

《翻訳》

- 第三代シャフツベリ伯爵『熱狂に関す
 る書簡』和訳と解説（上）
 ——1708 年版の始めから 38 頁
 まで——
 ……菅谷 基 63

第 49 号（2017 年 1 月）

- 芥川龍之介「黄梁夢」試論
 ……謝 銀萍 1
- 人間へのまなざし——集大成としての
 金子光晴詩集『IL』の一考察
 ……櫻井 遼太 23

《翻訳》

- 第三代シャフツベリ伯爵『熱狂に関す
 る書簡』和訳と解説（下）
 ——1708 年版の 38 頁から終わ
 りまで——
 ……菅谷 基 61

List of Articles in *ICU Comparative Culture*

No. 1 (Oct. 1980)

- Presidential Address ··· Masayoshi UOZUMI
 Congratulatory Address
 ··········· Roger MATTHEWS
 Comment les choses étaient aperçues au
 XV^e siècle? : Sur le "Doubleportrait dit de
 Giovanni Arnolfini et sa femme."
 ··········· Hisara KONDO
 Dürer and Form ··········· Eiichi SAITO
 A Pattern of the Acceptance of Catholicism
 in Japan ··········· Sayuri SHIMOZAWA
 On the Social Background of the Reformation
 in Lübeck ··········· Hiroshi MUNESUE
 Aspects of "Individuality" in an
 Understanding of Culture
 ··········· Yuichi SUNAKAWA

No. 2 (Apr. 1981)

- 'Mono' and 'Miru' in Bashō (a Study of
 Bashō's Theory on the Poetic Creation):
 Concerning the Syncrisis (Comparison)
 of Litarature ··········· Hajime ISHIDA
 A Study of the Michi-Yukis in "Double Love
 Suicide at Sonezaki" ··········· Fumio YOSHIOKA
 A Study of the Change of World View of
 Korean Shil-hak Thought with Particular
 Reference to the Puk-hak School
 ··········· Sung Jhon LEE
 Yung Wing in America as a Student
 ··········· Masako FUJIMOTO
 Fukuzawa Yukichi's Approach to Korea
 with the Principle of "Civilization": in
 Contrast to the Genyōsha's Approach
 ··········· Yutaka SATO

No. 3 (Oct. 1981)

- From Shadowie Types to Truth: Typological
 Imagination in Dante, Milton and Early
 American Puritan Literature
 ··········· Naoki ONISHI
 Some Mysteries of "King Oedipus"
 ··········· Fumio YOSHIOKA
 Meaning of Craft for Yanagi Soetsu
 ··········· Sumiko NAGATA
 Transcendence of Beauty and Human
 Existence ··········· Atsushi TANAKA

No. 4 (May 1982)

- Indetermined-Determined Layer Structure
 of "Role-Being" ··········· Yuichi SUNAGAWA
 Das Problem der Authentizität der
 Erfahrung bei Kleist: Bewußtsein und
 Gefühl in der „Marquise von O..."
 ··········· Yuko FURUSAWA
 On Berger's 'Relativizing the Relativizers'
 ··········· Makoto SATOW
 The Formation of the Urban Community at
 Cologne ··········· Noriko OKUDA
 La technique de composition de Tatsuo Hori
 ··········· Yoshiko MATSUDA

No. 5 (Nov. 1982)

- Under the Cope of Hell: the Comic Element in
 "Paradise Lost" ··········· Kazumi SHIMODATE
 The Women of the First Christian "Daimio,"
 Sumitada Omura ··········· Sayuri SHIMOZAWA
 A propos de la "Chronique" de Georges
 Chastellain ··········· Hisara KONDO

No. 6 (Jun. 1983)

- A Dramatic Overture: A Study of *Hamlet*
 with Special Reference to the Opening
 Scene ··········· Fumio YOSHIOKA
 Le chapitre IX du livre IV de *Chronique* de
 Georges Chastellain dont la dernière
 partie est jusqu'ici inconnue : le texte
 établi d'après "BL Additional Manuscript
 54156" ··········· (par Hisara KONDO)
 Du nouveau sur la *Chronique* de Georges
 Chastellain ··········· Hisara KONDO
 Nature, Gods and Man in 'Ceyx and
 Alcylene Idyll' in Ovid's *Metamorphoses*
 ··········· Yoko MIZUSHIMA
 Poèmes en français de Rilke ··········· Yutaka IKEDA
 The Political Thought of Reinhold Niebuhr
 and the American Tradition of Public
 Theology ··········· Koichiro TAKARIKI

No. 7 (Dec. 1983)

- Proudhon ou l'origine de la perception
 immanente de la société ··········· Chisako HARA
 The Function of Typology in Early
 American Literature ··········· Naoki ONISHI
 Autour de la notion de traduction dans la
 critique d'art de Baudelaire

- Akihiko YAMAMOTO
 Das Problem der Schuld in Heinrich von Kleists „Prinz Friedrich von Homburg“ und Matsuko Akimotos „Kaison, der Priester von Hitachi“
 Yukiko SHIRATORI
 The Displacement of the Omniscient Narrator and the Emergence of the Protean Narrator in the Nineteenth-Century Novel..... Lisa SHINOHARA
 <Research Note>.....Yuichi SUNAGAWA

No. 8 (Jul. 1984)

- The Poetry of Otsuki Tetsuo: Tracing His Poetic Process Mari TANAKA
 Milton's Sonnet XIX as a Process of Education Kosei ONO
 Tradition and Modernity: A. K. Saran's Indian Social Studies and His Crisis Consciousness Kota TSUMORI
 The Imagery of Water and Knots in "The Love Suicide at Amijima" (1): The Love and Agony of Koharu ... Kazumi SHIMODATE
 <Research Note>
 Ôe, Taku's "Assist" in the Attempt at Independence of Kan-gai (1907-1909)
 Kei NEMOTO

No. 9 (Dec. 1984)

- An Essay Concerning Comparative Culture Toshiya YUKI
 A Semantic Study on the General Positioning of Evocative Force in Discourse Toru TAKEDA
 The Tragedy of Carrie Meeber Rui KOHIYAMA
 The Book of Job and The Ancient Near Eastern Wisdom Literature Shigehiro NAGANO
 The Imagery of Water and Knots in "the Love Suicide at Amijima" (2): The Pathos of Osan Kazumi SHIMODATE
 <Research Note>
 Das Problem des Eigentums in Hegels *Rechtsphilosophie* ... Shigeki HIRAYAMA
 <Book Review>
 A. K. Saran, "A Prolegomenon to Nuclear Disarmament and World Peace," *Gandhi Marg*, vol.1, no.38+39, Gandhi Peace Foundation, Delhi, May and June, 1982.
 Kota TSUMORI

No. 10 (Nov. 1985)

- One Type of the Indigenous Libertarian in Modern Japan: Self and Society in Ishikawa Sanshiro Atsuko INADA
 The Anti-Hero in Epic: Satan and Kiyomori Kosei ONO
 Kingship and Social Order in Classical Hindu Thought: Comparison between Dharmaśāstra and Arthaśāstra T. David ITO
La Grammaire de Port-Royal, est-elle générale et raisonnée? Toru TAKEDA
 <Research Note>
 Digest of Wataru Hiromatsu's *Busshoka-ron no Kozu* (1) Yuichi SUNAGAWA
 <Note>
 Distorted Images of Burma ... Kei NEMOTO

No. 11 (Mar. 1986)

- Tocqueville et le système pénitentiaire en Amérique Chisako HARA
 The Theme of an Isolated Man in *The Blithedale Romance*: Miles Coverdale's "Smile" and "Laughter" Rui KOHIYAMA
 Subjectivity in the Language of Discourse and Narration: Examples of Two First Person Narratives Keiko MAKI
The Waste Land 1922 by T. S. Eliot (1)
 Machiko SAITO
 <Research Note>
 Digest of Wataru Hiromatsu's *Busshoka-ron no Kozu* (2) Yuichi SUNAGAWA

No. 12 (Jul. 1986)

- Taking Persons Seriously: A Humanist Critique of Rawls' Kantianism Kiyoshi SHIMOKAWA
 Baudelaire et Kafu Nagai Akihiko YAMAMOTO
 The Concept of History in Nietzsche's Early Writings (Part I) Takafumi NODA
 Orestes in Euripides' *Electra* Shogo HIRATA
 An Approach to the Studies on the Levites Mika YAMAMORI
The Waste Land 1922 by T. S. Eliot (2)
 Machiko SAITO
 <Research Note>
 On Some Features of the World of Zuhandensein Yuichi SUNAKAWA

No. 13 (Jan. 1987)

- On the Logos of Heraclitus
Naoshi MATSUBAYASHI
 Wanderings of the Noble: *Heike Monogatari*
 and *Paradise Lost* Kosei ONO
 The Worlds as the Field of Existence: An
 Essay concerning Comparative Culture II
 Toshiya YUKI
 The Types of Asian Ecumenism: Chinese
 and Indian Cases T. David ITO
 The Concept of History in Nietzsche's Earlier
 Writings (Part II) Takafumi NODA
 <Research Note>
 A Note on the Notion of *Troisième sens* of
 Roland Barthes Toru TAKEDA

No. 14 (Sep. 1987)

- Apollo, Dioscuri, Mortals: The Ending of
 Euripides' *Electra* Shogo HIRATA
 George Herbert, His Faith & Poetry
 Machiko SAITO
 A New Approach to Saga Study in the
 1970's in Terms of Structuralism
 Mayumi FURUKAWA
 Appreciative Analysis of the Traditional
 Chinese Culture: Dealing with the Case
 of Protestant Missionary W. A. P. Martin
 CHU Lin-Lin
 <Research Note>
 In the Autumn of *Eiroku* 5th (1562) *Christão-*
Music in Funai, Bungo ... Shin'ya AGARIO

No. 15 (Jun. 1988)

- P. Tilich's Doctrine of God ... Kunihiro ANDO
 The Optics of the Play (1): With Reference to
 Nietzsche's Thought in the First Half of
 the 1880's Hitomi GOROMARU
 Good & Evil in *Paradise Lost* ... Machiko SAITO
 <Document Review>
 Das Statut von der Bruderschaft der
 Weltlichen Musikanten, Sogenannt
 <Grunrolle>, in Hamburg (1691)
 Shin'ya AGARIO
 <Special Essay>
 The Vision and Design for the Ph.D.
 Program of Comparative Culture at ICU
 Kiyoko TAKEDA CHO

No. 16 (Dec. 1988)

- Age of Reform: Social Thought of
 Transcendentalism Chisako HARA

- Visigothic Spain in the Later 6th Century
 Studied through the Rebellion of
 Hermenegild Kaori ADACHI
 The Optics of the Play (II): With Reference
 to Nietzsche's Thought in the First Half
 of the 1880's Hitomi GOROMARU
Romeo and Juliet: The Lover's Journey to
 Death Kazumi SHIMODATE
 Action, End and Subject in Hegel's
Philosophy of Right ... Shigeki HIRAYAMA

No. 17 (Dec. 1989)

- Tradition and Continuation of Hidden
 Christianity: A Case Study of Maeshima,
 Gotō Rettō Megumi TAKASAKI
 Nietzsche's Criticism of Historical Research
 and His Own Historical Thinking in *the*
Birth of Tragedy (I) Takafumi NODA
 Origines des acteurs = auteurs du Kyōgen
 (I) : milieu social et mental qui servit à la
 formation du drame comique
 Naoshi MATSUBAYASHI
 <Note>
 Scope of Hiromatsu's "Theory of Expression":
 A Digest of Wataru Hiromatsu's *Hyojo* (1)
 Yuichi SUNAKAWA

No. 18 (Mar. 1990)

- Gandhi and the Khilafat Movement
 Ayako TOKUDA
 Nietzsche's Criticism of Historical Research
 and His Own Historical Thinking in *the*
Birth of Tragedy (II) Takafumi NODA
 Origines des acteurs = auteurs du Kyōgen
 (II) : milieu social et mental qui servit à
 la formation du drame comique
 Naoshi MATSUBAYASHI
 <Note>
 Perception of Expression and Insight into
 Role-Expectation: A Digest of Wataru
 Hiromatsu's *Hyojo* (2)
 Yuichi SUNAKAWA

No. 19 (Jun. 1990)

- An Approach to *the Night Revels of Myriads*
of Demons by Sekien Toriyama
 Yasuko YOKOYAMA
 Surprised by Joy Machiko SAITO
 Origines des acteurs = auteurs du Kyōgen
 (III) : milieu social et mental qui servit à
 la formation du drame comique

.....Naoshi MATSUBAYASHI
 <Research Note>
 Zadruga: Eine Mythe in Balkan I
 Mayumi FURUKAWA

No. 20 (Dec. 1990)

Some Aspects of the 'Multiplicities' as
 Necessary Conditions in the Theory of
 the Rule in Wittgenstein's *Philosophical
 Investigations*: A Study on the Relation
 between McGinn's Multiple Application
 Thesis as the Diachronic and Kripke's
 Community Theory as the Idiosyncronic
Naoki SOYA
 C. S. Lewis and Spenser's Images of Life
 Machiko SAITO
 Le fantastique et *L'Enfermée*
Sumiko YAMAZAKI
 <Note>
 Rootstructure of Understanding-of-the-
 Other and Perception of Expression: A
 Digest of Wataru Hiromatsu's *Hyojo* (3)
 Yuichi SUNAKAWA

No. 21 (Jun. 1991)

Der Schwäbische Biblizismus: Zur Blutlehre
 von J. A. Bengel..... Hiroshi KUBOTA
 Liang Ch'i-ch'ao as Publisher (I): A Study of
 the Intellectual Activities of Liang Ch'i-
 ch'ao's Early Years..... Mariko MATSUE
 The Craftsmen Struggle of Cologne in 1396
 Guan-zeng ZHANG
 <Note>
 A Research for Jacob de Senleches: Does
 No-one Know Who He Was?
Shin'ya AGARIO

No. 22 (Mar. 1992)

A Study of the Representation of A Stupa
 on the Halo of Guze Kannon
 Hirokazu YATSUNAMI
 The Theme of Evil in Shakespeare I: A Study
 of Tsubouchi Shōyō's Interpretation of
Macbeth..... Yasuko YOKOYAMA
 Beckett et le Nō Sagami NIIKURA
 "The Idiot Boy": Wordsworth's Cultural
 Critique Hiroshi TAKUBO

No. 23 (Sep. 1992)

A Study of Motivation in Language:
 Concerning Linguistic Categorization and

Human Metaphorical Thinking Part (I)
 Mitsuko TAKAHASHI
 The Theme of Evil in Shakespeare II: A Study
 of Tsubouchi Shōyō's Interpretation of
Titus Andronicus.....Yasuko YOKOYAMA
 "Play of Imagination and Understanding"
 in Kant's Aesthetics (I)
Hitomi GOROMARU
 Nishida's Commitment to the World as
 Historical Reality.....Takafumi NODA

No. 24 (Mar. 1993)

A Study of Motivation in Language:
 Concerning Linguistic Categorization and
 Human Metaphorical Thinking Part (2)
 Mitsuko TAKAHASHI
 Portraits of People Described in *Saikaku
 Shokokubanashi* Yuriko YANO
 "Play of Imagination and Understanding"
 in Kant's Aesthetics (II)
Hitomi GOROMARU
 Seeing as Critic in Ruskin, Arnold, and
 Pater Hiroshi TAKUBO
 <Research Note>
 Folktales Around ICU, 1991 (I)
 (ed.) Yasuyo MORIYA

No. 25 (Sep. 1993)

Running of Women in Greek Tragedy (I)
 Shogo HIRATA
 Donquichottisme et Bovarysme : etude sur le
 désir et l'imitation.....Sumiko YAMAZAKI
 <Research Note>
 Folktales Around ICU, 1991 (II)
 (ed.) Yasuyo MORIYA

No. 26 (Aug. 1994)

La construction binaire de quatre romans de
 Balzac I Sumiko YAMAZAKI
 Form in the Japanese Tea Ceremony: The
 Role Symbolic Forms Play in Creating the
 Cha-no-yu Cosmos... Reiko TANIMURA
 Blood Atonement: Violence in Mormonism
 Hiroshi TAKAHASHI
 Running of Women in Greek Tragedy (II)
 Shogo HIRATA

No. 27 (Mar. 1995)

A Comparative Study of the Ideas of Some
 Racial Bigots in Nineteenth-Century
 America Hiroshi TAKAHASHI

- Le *Hyakunin issshū*: traduction et notes
 Sagami NIKURA
 A Japanese Nightingale Called Onoto
 Watanna: Womanhood and Japonisme in
 Turn-of-the-Century America
Mariko D. MAEDA
 English and English Literature Education in
 the Beginning of Sapporo Agricultural
 College Masako MATSUZAWA
 La construction binaire de quatre romans
 de Balzac II Sumiko YAMAZAKI

No. 28 (Nov. 1995)

- In the Interface of Two Cultures
 Ying ZENG
 Connection and Alienation: A Comparative
 Study of E. M. Forster and George Orwell
 on Their Representation in *A Passage to
 India* and *Burmese Days* (I)
 Miho TAKASHIMA
 Folktales around ICU, 1992
 (ed.) Yasuyo MORIYA
 Le merveilleux dans *le livre* de Marco Polo
Sumiko YAMAZAKI

No. 29 (Dec. 1996)

- Hakarai, Gi* and *Jinen*: A Pragmatic Analysis
 of Shinran's TermsHisao TAKAGI
 Nature and Faith in Emily Dickinson: Her
 Nature Poems and Edward Hitchcock's
Religious Lectures Shino KUROSAKI
 Metrical Differences and Similarities:
 Among the Poems in the MS Cotton
 Nero A. x.Yasuyo MORIYA
 Connection and Alienation: A Comparative
 Study of E. M. Forster and George Orwell
 on Their Representation in *A Passage to
 India* and *Burmese Days* (II)
 Miho TAKASHIMA
 "Outsiders" of Foreign Policy: Women
 Critics in the United States prior to 1920
Mariko D. MAEDA

No. 30 (Dec. 1997)

- The Interrelationship between Service and
 Learning in *Hagakure* ... Takako SUZUKI
 Social Environment of Court Music at
 Mantua during the Reign of Duke
 Vincenzo I Gonzaga (1587-1612)
 Seishiro NIWA
 Mallarmé by Bonnefoy Eriko TAKEDA

- The Revolution Revisited: *Macbeth* on Stage
 in 1606 and 1976...Tetsuhito MOTOYAMA
 Revolt and Equilibrium: A Comparative
 Study of George Orwell and Albert
 Camus on their Commitment in *Nineteen
 Eighty-Four* and *L'Homme Révolté* (Part
 One)..... Miho TAKASHIMA
 <Review>
 PMLA Forum: "Cultural Studies and the
 Literary." *PMLA* 112 (1997): pp.257-286
 Hiroshi TAKUBO

No. 31 (Dec. 1998)

- Freewill and Determinism: Shelley's
 Affinity with the Enlightenment
 Hiroshi TAKUBO
 The Currencies and the Payment of Salaries in
 Sixteenth-Century Parma...Seishiro NIWA
 An Interpretation of Reinhold Niebuhr's
 Discussion of Democracy: System or
 Ethos? Ken UEKI
 Revolt and Equilibrium: A Comparative
 Study of George Orwell and Albert
 Camus on their Commitment in *Nineteen
 Eighty-Four* and *L'Homme Révolté* (Part
 Two)..... Miho TAKASHIMA
 <Research Note>
 A Re-interpretation of Weber's *Sekte* in His
 Theoretical Works ... Fumie SHIMOTORI

No. 32 (Mar. 2000)

- On the Art and the Theory of Translation
 of Arthur Waley Represented in the
 "Ukifune" Chapter ...Chiaki HATANAKA
 Teaching Japanese in the UK: Importance of
 Socio-Cultural Dimensions
 Yuri KOMORI
 An Introduction to the Semantic Standpoints
Kanji MATSUNAKA
 <Review>
 On the "Final Report of the MLA Committee
 on Professional Employment": *PMLA*,
 vol.113 (Oct. 1998): 1154-1187; vol.114 (Mar.
 1999): 229-238.Hiroshi TAKUBO

No. 33 (Mar. 2001)

- A Pious and Popular Paradox: The Reception
 of Mystery Plays in Fifteenth-Century
 EnglandTetsuhito MOTOYAMA
 How the Ducal Chapel of Parma Acquired
 Jean d'Arras: Recruitment of a Flemish

- Musician by an Italian Court
 Seishiro NIWA
 Fiction et devenir : la problématique de la
 littérature chez Deleuze
 Koji SUKEGAWA
 The Current of Semantics: Particularly in
 Structural Linguistics
 Kanji MATSUNAKA

No. 34 (Mar. 2002)

- Special Lecture: "The Rise of Modern
 Japanese Literature"
 Hikaru OKUIZUMI
 From Blood to Wisdom: René Girard and
 the Question of Nonviolence
 Kunihide MATSUTANI
 Le dedans et le dehors du discours :
 Benveniste et la question de la sui-
 référence et de la conversion
 Koji SUKEGAWA
 The Kinship Terms in the Teaching of
 Japanese: An Analysis of Textbooks for
 Beginners Yuri KOMORI
 Eating Meat, Seeking Modernity: Food and
 Imperialism in Late Nineteenth and Early
 Twentieth-Century Japan···Ayu MAJIMA
 The Current of Semantics: Particularly in
 Cognitive Linguistics
 Kanji MATSUNAKA

No. 35 (Mar. 2003)

- Voluntas extra gratiam: Luther und
 Spätscholastik..... Yoko KAWAKUBO
 Legacy of Anti-religious Movements in the
 Early 1930's: A Study on the Works of
 Masaji Iwakura Hazuki MORI
 Oswald Croll and Helias Artista
 Amadeo MURASE
 The Proposal of STS Linkages Theory
 Yuki HAGIWARA
 <Research Note>
 On Lexical Meanings and Translation: In
 Case of *good* Kanji MATSUNAKA
 <Lecture Summary>
 War and Journalism Toru TAKEDA
 <Summary of Summer Colloquium 2002>
 "Revelation and Reason, Revisited"
 Hisao TAKAGI, Ken UEKI,
 and Yoko KAWAKUBO

No. 36 (Mar. 2004)

- The Epistemological Foundation of
 Mutuality in Hobbes, Locke, and Hume
 Naoki YAJIMA
 How is the Appearance of the Others?
 Yuki HAGIWARA
 Speaking for the Barbarian: Loss in J.M.
 Coetzee's *Foe*..... Yuka KOIZUMI
 Paradoxe colonial dans le roman de voyage
 de Le Clézio Hiroshi MATSUI
 <Lecture Summary>
Rokurokubi from the Viewpoint of Comparative
 Culture Yasuko YOKOYAMA

No. 37 (Mar. 2005)

- Working out Transnetworking: Walter
 Benjamin's Reflexive Philosophy of
 History Yuki HAGIWARA
 An Analysis into the Translation of Japanese
 "Eel Sentences": A Case Study of Chinese
 or English Speaking Japanese Language
 Learners Tomoko MISUMI
 Issues in Implementing of Native Language
 (Mother Tongue) Education Policy (2001)
 in Taiwan Ryuko TANIGUCHI
 Remarks on Morphologically Visible Head *v*
 in Japanese Naoki KIMURA
 Tea and Henry James's 'Scenic Method' in
The Awkward Age and *The Spoils of Poynton*
 Haiyan ZHAN
 Modern Germany and Bureaucracy: The
 Weber Brothers and Kafka
 Chikaho ASAKURA
Buraku Women in Postwar Japan and the
 Drafting of the Japanese Constitution
 Miyuki MORITA
 <Research Note>
 The Origin and Transformation of the Word
 "SHOKUMINCHI (colony)"
 Yuji KAWAZOE

No. 38 (Mar. 2006)

- Interdisciplinary Area Studies toward
 Safer Life: On Yanba Dam Issues in the
 Agatsuma River Basin···Yuki HAGIWARA
 The Female Robinsonade: Muriel Spark's
Robinson and Jane Gardam's *Crusoe's*
Daughter..... Yuka KOIZUMI
 "Japaneseness" on Modern Japan
 Architecture and "New Photography"
 Yu KISHI

<Research Note>

Impression Management in Japanese Culture and Society: A Comparison of Japanese, American and German Interview Manuals.....Richard E. Goetz

No. 39 (Mar. 2007)

<Special Lecture> "Three Decades of

Comparative Culture: Achievements and Prospects"..... Koichi NAMIKI

Working out Transnetworking (2): A Focus on Walter Benjamin's Philosophy of Language and Law..... Yuki HAGIWARA

A Study of Person Deixis in the Process of Fixation: A Case Study of a Family..... Yuri KOMORI

Tea in *The Story of The Stone*: Meaning and Function..... Haiyan ZHAN

The Ainu on 'Display': Expositions and the Construction of Colonial Images in Early Twentieth Century Japan..... Miyuki MORITA

<Research Note>

Wittgenstein and Music: A Study on the Cultural Basis of His Thinking..... Koichi NAKAMURA

No. 40 (Mar. 2008)

The Archaic Layer and Prehistory..... Yuki HAGIWARA

A Study on Ethical Issues in Medical Institutions: Hospital Ethics Committees as a Support of Immanence of Ethics..... Akinori YAMABE

La représentation de la ville dans *La Jetée* et *Muriel* comme la fissure de l'histoire..... Shiho AZUMA

Dramatization of Tea in British Novels and Short Stories in the First Half of the Twentieth Century..... Haiyan ZHAN

No. 41 (Mar. 2009)

The American Ideal Image in the Age of Science and Technology..... Yoshitaka AOTO

Iwashima Hemp as a Traditional Industry: An Example of Reflexive Modernization in Japan..... Yuki HAGIWARA

Rectilinear Trajectory of Projectile in Impetus Theory..... Masaki YOSHIZOE

Genealogy of *Dôke* in the West..... Takehiko SHIMURA

Paintings in the Stoa Poikile: Athenian Large Paintings, War and Myth in 5th Century B.C. Kyoichiro YAMAGUCHI

Caliban, Caraïbe, cannibale : un cannibalisme littéraire de *La Tempête* de Shakespeare par Aimé Césaire Hiroshi MATSUI

Nostalgic Evocations: Shirley Jackson, Kono Taeko and the Uncanny

..... Samantha LANDAU
Hiroshima Reconstructed, Even Though

Locality Was Sacrificed Yu KISHI

No. 42 (Mar. 2010)

The Development of Manifest Destiny in 20th Century America: The Sputnik Crisis and Apollo Program..... Yoshitaka AOTO

"Parallel" and "Additive" Conjunctive Expressions in Different Text Types: Focusing on Various Magazines

..... Tassawan CHONGPENSUKLERT

The Fate of "L'Etranger" in Modern Japan: Toward a Re-evaluation of Yone Noguchi

..... Ayako HOSHINO

From "Quicksand" to "Absolute Truth": Changing View of "Reality" and Memory in the Plays of Harold Pinter

..... Shiro YOSHIOKA

No. 43 (Mar. 2011)

Rebuilding the Exhausted Community: The Current Situations and Issues of Conflicts over Yanba Dam..... Yuki HAGIWARA

The Udon Economy: Food and Tourism in Kagawa Prefecture Teneal JONES

The Heroic Image of the Space Age: American Ethos and Its Future in the 1960s..... Yoshitaka AOTO

Le travail du chiffonnier dans les images urbaines de Chris Marker..... Shiho AZUMA

Uncanny Houses, Sinister Homes: A Study of the Motif of the House in Gothic Literature Samantha LANDAU

Le marronnage reconsidéré dans *Lesclave*

vieil homme et le molosse de Patrick Chamoiseau Hiroshi MATSUI

No. 44 (Mar. 2012)

Taketori Monogatari as Fiction Mika SAITO

The Life and Theology of Reverend Osamu Taira: A Christian Response during the U.S. Administration of Okinawa (1945-

1972) Mikio MIYAGI
 Die Frage nach dem Sein und die
 Vereinzelung in *Sein und Zeit*
Yuki ISODA

No. 45 (Mar. 2013)

Home of the Heart: the Modern Origins of
FurusatoLindsay R. MORRISON
 The Menstrual Closet: Analysis of the
 Representation of Menstruation in
 Japanese and Colombian Advertisements
 for Feminine Hygiene Products
Juliana BURITICA ALZATE

<Research Note>

Cupido and Its Related Words in Catullus 64
 Kyoichiro YAMAGUCHI

<Book Review>

Hoshino, Ayako. 『ヨネ・ノグチ——夢を追いかけた国際詩人』(Yone Noguchi: Yume wo Oikaketa Kokusai-Shijin). 彩流社 (Sairyu-sha), 2012. Robert ONO
 Okado, Masakatsu (ed.). 『新生活運動と日本の戦後——敗戦から1970年代』(Shin Seikatsu Undō to Nihon no Sengo: Haisen kara 1970 Nendai), 日本経済評論社 (Nihon Keizai Hyouronsha), 2012. Soichi TSUCHIYA

No. 46 (Mar. 2014)

Les choses, le sommeil, les mots : l'espace onirique de Jules Supervielle
 Sonoko SATO

Earth-opening Poseidon: Descriptions in *Eikones* II.14, 16, 17
 Kyoichiro YAMAGUCHI

The Act of Faith and Vision: Analysis of Two "Moon" Speeches Made by John F. Kennedy Yoshitaka AOTO
 "Erkenntnis Gottes" in Karl Barth's *The Epistle to the Romans*: A Comparative Study of the First and Second Editions
Rina KIMURA

Paul Tillich's Theology and Rollo May's Existential Psychotherapy
Kazuki WAKAYAMA

A Study of the Imperial Composition *Yomonoumi* Mitsunori G. HOMMA
 <Translation>

Kajii Motojirō, Poet of Darkness: Four Translations and a Commentary "Blue Sky," "The Story of the Bamboo Water Pipe," "Underneath the Cherry Trees,"

and "A Picture Scroll of Darkness"
Lindsay R. MORRISON

No. 47 (Mar. 2015)

Gelett Burgess's "lark-ness" as a Crucial Element for Yone Noguchi's Success
 Ayako HOSHINO

Pragmatic Cultural Accommodation: A Study of Matteo Ricci's Chinese Works
 Paula ESGUERRA

<Research Note>

"Notes on Religious Subjects by K. Uchida" 1879: ReprintKazuko MIYATA

<Translation>

Karl Barth's *Der Römerbrief* (1919), 1 Kapitel: Japanese Translation and Annotated BibliographyRina KIMURA

No. 48 (Jan. 2016)

Ohsui Arai's Concept of Spiritual Thoughts in His Original Theology: In Comparison with Daisetz T. Suzuki's 'Spirituality'
 Rika NASU

<Research Note>

Guides in Roman Period and Their Role in Plutarch's *de Pythiae Oraculis*
 Kyoichiro YAMAGUCHI

<Translation>

Shaftesbury's *A Letter Concerning Enthusiasm*: Japanese Translation and Explanatory Notes (Part 1) Motoi SUGAYA

No. 49 (Jan. 2017)

A Study of Akutagawa Ryunosuke's *Kōryōmu*Yinping XIE

Compassionate Gaze: A Study of Kaneko Mitsuharu's *IL Vis-à-vis* His Earlier Work
Ryota SAKURAI

<Translation>

Shaftesbury's *A Letter Concerning Enthusiasm*: Japanese Translation and Explanatory Notes (Part 2) Motoi SUGAYA